

観光経済学Ⅰ

科目ナンバリング ECT-205
選択 2単位

麻生 憲一

1. 授業の概要(ねらい)

本講義の目的は、さまざまな観光現象を経済学的手法(ミクロ経済学)に基づいて解説し、受講生自らがその手法に基づき分析し、判断できる能力を身につけることである。
ミクロ経済学からの視点として、まず観光財の特性を明確にし、観光者の合理的行動を定義づける。その下で観光の需要側面を特徴を明らかにする。そして、観光企業の行動様式を定義し、供給側面の特徴を明らかにする。観光市場の需給関係を理解した上で、観光市場の構造を具体的事例により明示する。最後に観光経済学の応用可能性について論じる。

2. 授業の到達目標

- 1)観光と経済の関わりを理解する。
- 2)ミクロ経済学の基本的概念を把握する。
- 3)観光現象を経済学的に考察することの意味を考える。
- 4)需要と供給の側面から観光現象を説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

- 中間レポート(20%)
- リアクションペーパー・受講態度(20%)
- 期末テスト(60%)

4. 教科書・参考文献

教科書

シンクレア・スタブラー(小沢健市監訳) 観光の経済学 学文社

参考文献

ジェームズ・マック(瀧口他訳) 観光経済学入門 日本評論社

5. 準備学習の内容

前回の講義内容を必ず復習しておくこと。

また教科書・参考書などで事前に講義内容を把握しておくこと。授業ではリアクションペーパーを通じてミニテストを行うことがある。

6. その他履修上の注意事項

この講義をより一層理解するためには、ミクロ経済学の講義を受講することが望ましい。

図表を板書することが多いので、定規などを用意しておくこと。

なお本講義の受講生はミクロ経済学の基礎的な知識が必要である。また、若干の数学的知識も必要である。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
講義概要の説明
- 【第2回】 観光現象に対するミクロ経済学的視点
- 【第3回】 観光財の特性(自由財・経済財)
- 【第4回】 観光需要と観光者行動様式(効用理論と最適化行動・需要曲線の導出)
- 【第5回】 観光需要の弾力性(価格弾力性・所得弾力性・交差弾力性・所得効果・代替効果)
- 【第6回】 観光企業(生産者)の特性
- 【第7回】 観光供給と観光企業行動様式(供給曲線の導出)
- 【第8回】 観光供給の弾力性と観光生産物の特性
- 【第9回】 観光の市場特性と構造(複合的市場)
- 【第10回】 市場の均衡と調整機能(価格調整・数量調整)
- 【第11回】 観光における市場の失敗(独占・寡占・製品の差別化)
- 【第12回】 観光現状の不確実性(期待効用理論・プロスペクト理論)
- 【第13回】 観光と環境問題(非経済的価値・評価・分析手法)
- 【第14回】 観光と戦略(ゲーム理論の応用)
- 【第15回】 講義総括(観光経済学Ⅱに向けての解説)